

平成 19 年 10 月 26 日

各 位

神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目 2 番 1 号
横浜ランドマークタワー

ラ ン ド コ ム 株 式 会 社
代表取締役社長 青 木 俊 実

(コード番号: 8948 名証セントレックス)

問い合わせ先 取締役経営企画室長 上田宏幸

電話番号 045 (664) 2001

(URL <http://www.landcom.co.jp>)

「ランドコム取手」第 1 期販売開始のお知らせ

当社は、平成 19 年 10 月 27 日(土)、茨城県取手市において、「ランドコム取手」第 1 期(20 戸)の販売を開始しますので、お知らせいたします。

記

「ランドコム取手」は、JR 常磐線取手駅より徒歩 5 分。上野駅へ快速利用で 41 分という、都心直通の好アクセスを持つ、地上 15 階建、総販売戸数 69 戸のファミリー向けマンションです。

ロケーション 古くは水戸街道の宿場町として、また、利根川水運の中継地として、水陸の交通要衝江戸との交流が盛んだった取手は、近年において茨城県下で最も都心に近い街として発展してきました。現在では、東京藝術大学の取手校舎開設を機に、文化・芸術活動への取り組みが積極的に行われている土地でもあります。また、取手の象徴として、日本最大流域面積を持つ利根川があります。「ランドコム取手」の上層階南側住戸の窓には、夏の花火大会も楽しめる利根川の眺望が広がります。

プ ラ ン 「ランドコム取手」は、空と水辺のブルーに調和する、ベージュを基調としたアースカラーの外観ファサードはもちろん、内装・インテリアなどのデザイン面だけでなく、4 面採光の斬新なプランや収納率の高さにも配慮した上質のライフスタイルをトータルに提案しています。耐震性・耐久性については、当マンションの設計・監理会社はもちろん、構造強度については別の構造設計事務所にも依頼し、構造強度のダブルチェックを行っているほか、第三者機関による住宅性能評価を取得しています。

コ ン セ プ ト 住まう方の安心と安全を最も大切に考え、当マンションのコンセプトを「Blue Light」としました。人の気持ちを落ち着かせ、沈静する作用があると言われ、各報道で防犯に効果があったと報告されている青色の灯りをエントランスまでのアプローチに配するとともに、信頼と実績のセコム 24 時間セキュリティシステムを採用。全住戸の窓(FIX・浴室窓除く)に防犯マグネットセンサー、全住戸にセキュリティインターホンを設置するほか、敷地内 6 箇所に防犯カメラを設置しました。

「Blue Light」プロジェクトは、より快適で安全・安心な毎日のための当社の取り組みを具現化したプロジェクトです。

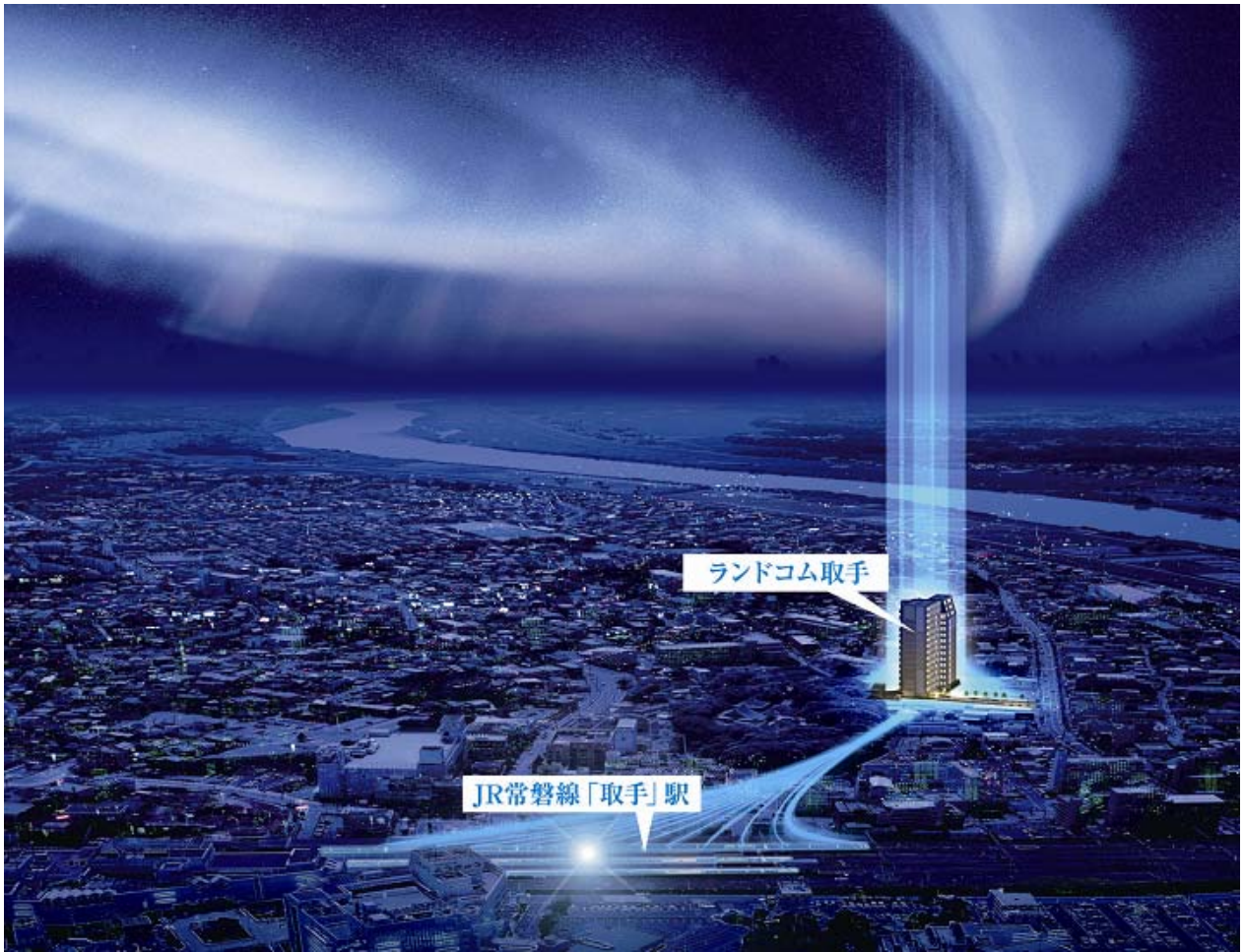
当社は、当マンションをはじめとし、今後も不動産メーカーとしての企画開発力を活かした事業展開を図ってまいります。

【ランドコム取手：物件概要】

- 所在地 茨城県取手市取手二丁目甲711番1、甲711番11（地番）
- 交通 JR常磐線「取手」駅下車徒歩5分
- 構造・階数 鉄筋コンクリート造 地下1階地上15階建
- 総販売戸数 69戸
- 間取り 2LDK～4LDK+SIC+2WIC
- 住戸専有面積 58.18㎡(2戸)～96.30㎡(2戸)
- 敷地面積 1,556.11㎡(実測面積)
- 建築面積 533.31㎡
- 竣工予定時期 2008年12月上旬
- 入居開始予定時期 2008年12月下旬
- 売主 ランドコム株式会社
- 設計 株式会社G2設計
- 販売提携(代理) 東亜住販株式会社
- 施工 株式会社浅川組 東京支店
- ホームページ <http://www.blue-light.jp/>

【ランドコム取手：第1期販売概要】

- 販売戸数 20戸
- 間取り 2LDK～4LDK+SIC+2WIC
- 住戸専有面積 58.18㎡(1戸)～96.30㎡(1戸)
- 予定販売価格 1,990万円～4,630万円
- 予定最多価格帯 2,600万円台、2,700万円台（各3戸）
- 契約開始日 平成19年10月27日（土）



ランドコム取手

JR常磐線「取手」駅

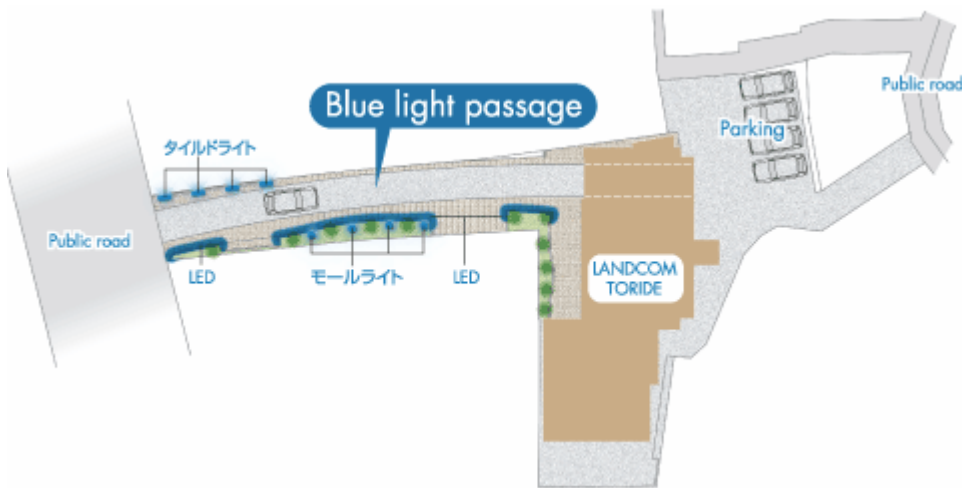
現地航空写真イメージパース
(平成 19 年 6 月撮影の写真にCG加工したもので、実際とは異なります)



現地 15 階相当から撮影した眺望(平成 19 年 8 月撮影)



エントランスアプローチ「Blue Light passage」完成予想図
 (設計段階の図面を基に描き起こしたもので、実際とは異なります)



人の気持ちを落ち着かせ鎮静する作用があるといわれる青色の灯りは、「ブルキニエ」という現象から赤色やオレンジ色の光に比べ、夜間は明るく浮き出て、遠くまで見通すことができるため、安全面での効果が期待されます。

日本各地の自治体などで、青色防犯灯による防犯活動が話題になっており、青色の灯りを採用したことによって犯罪発生件数が減少したなどのケースが多く発表されています。



モデルルームCタイプリビング写真(平成19年8月撮影)



現地周辺地図

以上